



電関モーターストックカーレース「レッドライン7000」2023 <開催要領>

【1. 開催コンセプト】

『スロットカー黎明期、60年代の一時、一世風靡したといっても過言でないくらい、電関モーターが流行った時期があったが、何よりアメ車＝ストックカーとの関わりが大きい。(中略) 私はタミヤや青柳金属 (AYK) のシャーシやパーツをいろいろ組合せて楽しんでいましたが、自身で電関モーター用シャーシを作ることはなく遠く憧れていただけだった。(中略) シャーシ制作して60sレーシングモデルカー復活！..できたらいいな。』

(「VXのブレイク」2022.4.16より抜粋)

夢の企画..電関モーターストックカーレース..その名も「レッドライン7000」。

2022.10、2023.2に続き、RPMBに舞台を移しての2023 Rd.2を6/11(日)10-13時に開催します。

皆様、奮ってご参加下さい！

【2. マシン構成】

- ① シャーシ：60s スロットカーシャーシ or 60s スロットカーリフトシャーシに必要な改造を施して使用。
ネジ類、サスペンションスプリング等は交換自由、スイングアームは可動 or 固定いずれも OK。
モーター：ケムロン 8V 巻 or カミ 8V 巻電関モーターのノーマル仕様に限定。
- ② ボディ：50s-60s フルサイズストックカー 1/25 フラキット (AMT、JO-HAN、Revell、Lindberg 等 + タミヤ・ハセガワ当時物・再販物も OK) に、自由な発想、実車仕様、タミヤ・ハセガワ当時物キット箱絵仕様等々..個々のイメージでカラーリング・デカリングを施して下さい。
ボディ・コックピット部・ドライブ等々の塗装とオリジナルパーツの取付けを原則とします。
- ③ ガイトは MINT 製 T ガイト or 明治屋 60s ガイト。ガイト軸の止め方はスッパ―やネジ止め等自由。
- ④ ブラシはネジ止め穴でとめられれば自由。ガイト部はボディ上面から見て露出しないこと。
- ⑤ ホールはアルミホールでメーカー自由。ホール幅は自由。ホールインナーを装着して下さい。
- ⑥ フロントタイヤは黒色のスポンジ or ゴム製。径 26mm 以上、幅 8mm 以上。
リアタイヤはケムシリコンタイヤに限定。径 28mm 以上、幅 12mm 以下。
- ⑦ シャフトは 3mm 径のスチール or ステンレス製。(中空シャフト、カーボンシャフト等は NG)
- ⑧ ピニオンギア、スパークギア or クラウンギアの組合せは自由とします。
- ⑨ トレットはボディ最大幅まで。
- ⑩ 最低地上高はガイト部を除き全ての部分で 2mm 以上。モーター最下部のみ 1mm 以上とします。
- ⑪ マウント方法：MINT タミヤシャーシの 3 点止め等に合わせて、ピス止めマウントを自作して取付けて下さい。
- ⑫ ウェイト搭載：20g 以内 OK。

60s スロットカーのことはコチラへ→MINTHOBBY ヤフオク ID:「mriioioi」

【3. レース実施要領】

○6/11(日)RPMB オープンフィールドコース(ストックカー:10V、レベルGT:10V)での開催を予定します。

○10時集合→フリー走行→11時レース1スタート⇒以降適宜進行⇒13時頃終了予定。

○当日は「レベル1/24SP600 キットレース」(フェラーリ 250GT0、コブラフォード、スティンクレイ)との「2レース開催！」。

○60s レベルキット 3 車種を、以下のマシン構成でご準備下さい。

- ・ボディ・シャーシ・モーター (SP600) はキットの組合せ通り使用。・デテールアップのためのボディパーツ変更 OK。
- ・タイヤ径・タイヤ幅・タイヤ材質・ホール・シャフト・ギア・ガイト・プレート：自由。(ホールパーツ導入は NG)
- ・マウント方法：マウントポストへのピス止め。・クリアランス：1mm 以上。・ウェイト搭載：20g 以内 OK。

